

平和と安全（その3）： 信

5.0

明:

社会に平和と安全をもたらすことにおいて、神への信仰、そして神への不断な想念が果たす役割。

目: [事イスラ ムによる利益社会への利益](#)

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ (2011 IslamReligion.com)

FB0 May 2011

集日 30 May 2011



しかし、法的に、法律だけでは平和と安全をもたらすことはできません。このことはイスラ ムを、人々の平和と安全を みる他の挑 から 立てる重要な要素です。安全において最も重要なことは、法律ではなく、人々の心の中にあるものです。イスラ ムの最 目 は、人と社会全体の中で信仰を 立、 化し、支え合うことです。前述の通りこの信仰は、お互いに する凶暴な感情を抑える安らぎを心にもたらします。さらに、 人の心に 信を植 え付けることは、この信仰の一部でもあります。前述の通り、信仰や 信は、心に平 を もたらすだけでなく、人の行 も律します。人は、一般的 に 行 しなければなりません、それら の 目的の一つが、平和と安全の 立 なのです。例えば、昨今の米国でよく られる光景ですが、人は自分の 嫌が いときでも、 で手当たり次第 にでも当たりちらすことはできないということを理解しています。つまり、安全と平和を守る行 という があるのです。

平和と安全をもたらす人生の全体的展望を する、非常に大事な要素があります。信仰と 信は人に人生の目的と、彼自身が高 な 造物であるという理解を与えてくれます。人生には意味があるのです。ただ物 が融合し合った 果などではありません。また同 に、人々は なる他の 物の子 などでもありません。このような理解は、人の人生に大きな影を及ぼします。私には米国の刑 所で いた があります。受刑者たちになぜ犯罪を犯したのか ねると、 まって返ってくる答えは「なぜ（犯罪を）犯してはいけないんだ？」というものでした。彼らにとって重要なのは、罪を犯した に逃亡し、捕まらないことだけだったのです。主への 任とか、人生の目的とかいう は一切ありません。この人生が、ただの偶然で、目的のないものだと思えるほど愚かならば、彼らの考えに して多くすることはできないでしょう。

しかし信仰と 信があれば、行 を抑制できるだけでなく、それに じて善行をしたいという 持ちも出てくるのです。これに しては、1919年に施行された米国のアルコール禁止令が例として げられるでしょう。この法は、犯罪と暴力、そして 酒が まったために施行されたものです。人々はもちろん、その法の良さを知り、信じていましたが（だからこそ施行されたのです）、多くの人の心には、その法に おうとする何かが全く欠けていたのです。しかし神の法への信仰と 信があるなら、状 は全く います。禁止された行に する憎しみすら生まれるのです。というのも信仰者には、その行 自体が であり、主の怒りを招くものだと思えるからです。それゆえ、信仰者はできる限り 法な行 を避けます。こうして神の法の施行により、安全が かれるのです。

さらに安全をもたらす神の法の施行に 献するものとして、イスラ ムが共同体精神に重きを置くということが げられます。米国で近年、平和と安全が欠如していることを み、「地域住民による警 」というものを取り入れるコミュニティが えてきました。近 の住民同士はこれにより、互いの面倒を 合い、目を らせ合います。この目的はただ、安全や平和をかき乱す何かを つけるだけでなく、人々に、彼らは共同体の一部なのだから、近 の人々に何が起きているか心配する必要があると理解させることでもあります。もちろんこれも、イスラ ムに わっている、共同体意 と同胞意 とは比べ物になりません。 としては、自らの欲望や他の邪 な人々に左右されてしまう弱い人もいます。彼らには、正しい道へと き、弱さを克服できるように助けてくれる りになる人々が必要

